まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで（市役所内線207）。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中！

「きっとありがとう」で長寿をお祝い

〔9月4日／市内各所〕

長寿者に歌や記念品をプレゼントする日野保育園児

敬老の日を前に、市長や市議会議長、社会福祉協議会会長らが、市内にお住いの100歳以上の長寿者23人のうち17人を慶祝訪問。花束や記念品を贈呈して長寿をお祝いしました。

楽寿園では、101歳から103歳の3人に、日野保育園児6人が心を込めて歌をプレゼント。「おばあちゃん、いつまでも元気でいてね」とメッセージを送りました。また、市内女性最高齢のの宮崎まつゑさん宅では、「敬老の日」発祥の地である多可町が制作した敬老の歌「きっとありがとう」が披露されました。

多可町とは「北はりま定住自立圏形成協定」を結んで「うるおいとやすらぎを感じる　暮らし豊かな　北播磨の郷」を将来像に定めてさまざまな分野で連携しています。市では、9月にこの「きっとありがとう」のCDを市内の全自治会に配布しました。

高校生が復興支援活動

〔8月下旬　丹波市内〕

ボランティアとして作業をする高校生たち

8月16日から17日の大雨で大きな被害が出た丹波市へ、市内3県立高校の高校生たちがボランティアとして駆けつけました。高校生たちは壊れたビニールハウスの撤去やごみの運び出し、腰の高さまで流れ込んだ泥のかき出しなどに汗を流しました。また、西脇市では、復興支援のため市職員を派遣。家屋被害調査や災害ごみの撤去、給水支援などに当たりました。

2人の研修生を迎えて

〔9月1日　落方町〕

研修生のジャミーさんと永原さん

農業の担い手育成、定住による地域活性化、交流人口の増加などを目的として、市では、「スイーツファクトリー支援事業」を実施しています。このたび地元や関係者をお迎えして研修施設の竣工式が開催されました。研修生は永原弘志さんとジャミーさんで、これから2年間にわたって栽培技術や販売などの研修を受け、イチゴ農家として独立を目指されます。

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介

第43回子ども芸術祭。「子どもステージ」では、子どもたちが太鼓演奏、バレエ、ベル演奏、合唱、ダンスを披露。子ども美術展結果はP25に掲載（8月30日・31日、市民会館）

西脇幼稚園児が敬老の日を前に心を込めて手紙を投函。おじいちゃん、おばあちゃん、いつまでも元気でいてね（9月12日、西脇東本町郵便局）

兵庫県土建一般労働組合西脇支部黒田庄分会の皆さんが奉仕作業を実施。黒田庄地区内の学校園施設の不良個所を点検・修理（8月24日、黒田庄地区内学校園）

西脇市観光協会による「黒田官兵衛パネル展」を開催中。官兵衛西脇市黒田庄町生誕説のほか県内のゆかりの地を紹介（10月31日まで、西脇市役所1階）

「笑顔いっぱい比也野号」出発式

〔9月12日　こみせん比也野〕

移動販売車「笑顔いっぱい比也野号」出発式。車名および車体のイラストは中学生が考案。

高齢者の買い物支援を目的に、ええまち比也野里では、総務省の「過疎集落等自立再生対策事業」の採択を受け、移動販売車を購入。ティッシュや洗剤などの日用品に加えて、飲料、菓子類、卵、加工食品などを扱い、特に支援が必要な上比延町、比延町、中畑町、住吉町を対象に巡回を開始されます。

事業所の消火技術を競う自衛消防競技大会

〔9月8日　日本へそ公園駐車場〕

消火用バケツを使って、速さを競い合う初期消火。ずぶ濡れになる参加者も…

事業所等の消防用設備の取り扱い技術の習得や自衛消防組織の資質向上を目的として、西脇多可防火協会主催の第19回自衛消防競技大会が開催されました。西脇多可防火協会に加入している35の事業所等から40チーム96名が参加し、消火器や消火栓の技術を競い合いました。

第1分団西脇部が水門閉鎖の手順を確認

〔8月31日　由縁橋／杉原川〕

水門閉鎖訓練の様子

台風シーズンを前に西脇市消防団第1分団西脇部が、杉原川にかかる由縁橋の水門閉鎖訓練を実施されました。この水門は平成16年の台風被害の後、河川からの溢水を防ぐため設置。団員の皆さんは地域の方が見守る中で、熱心に手順を確認しながら約5分で水門を閉鎖しました。